今日を愛する。
LION
ライオン株式会社
〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28

—発表資料—

2026年11月11日
26－26号

ライオンと日立、歯ぐきの健康スコアが低いと糖尿病や高血圧発症リスクが約1.7倍高いことを確認。
生活習慣病の発症リスクの予測に、唾液からの情報が有用である可能性
—「第67回日本人間ドック・予防医療学会学術大会」で「最優秀ポスター発表賞」受賞—

ライオン株式会社（代表取締役兼社長執行役員：竹森　征之）は、株式会社日立製作所日立健康管理センタ（茨城県日立市）と共同で、糖尿病予備群※1及び高血圧予備群※1の従業員を、唾液検査で得られた歯ぐきの健康スコアでグループ分けし、その後5年間の健康診断データを追跡・解析しました。

その結果、歯ぐきの健康スコアが低いグループでは、同スコアが高いグループに比べ、糖尿病や高血圧の発症※2リスクがいずれも約1.7倍高いことがわかりました。この結果は、唾液から得られる歯ぐきの健康スコアが、生活習慣病の発症リスクが高い人を見つける際の1つの手がかりとなる可能性を示したものです。

本研究成果は、2026年9月4日（金）～5日（土）に熊本城ホールで開催された「第67回日本人間ドック・予防医療学会学術大会」で発表し、「最優秀ポスター発表賞」を受賞しました。

※1　予備群の定義：人間ドック基準値を参考に、「軽度異常」もしくは「要再検査」と判定されたもの
※2　発症の定義：人間ドック基準値を参考に、「要治療」と判定されたもの



■研究の背景

2026年7月、厚生労働省が発表した「攻めの予防医療施策（U.E.N.O.Plan）」に「歯科保健」が盛り込まれるなど、口腔健康への関心が高まっています。中でも歯周病は、糖尿病をはじめとする生活習慣病との関連が数多く報告されており※3、全身の健康管理の観点からも、口腔の健康は大変重要です。

しかし実際には、職場や自治体の健康診断や人間ドック等の健診の場では、歯科に関する検査の導入は十分に進んでおらず、例えば約6割もの企業で歯科健診を実施していないことが報告されています※4。

本研究では、健康診断に口腔チェック※5を導入している日立健康管理センタと共同で、健康診断で得られる糖尿病や高血圧に関わる指標と、唾液を使った歯ぐきの健康スコアとを解析し、5年間の追跡調査を実施しました。

※3　特定非営利活動法人日本歯周病学会編「歯周病と全身の健康2025」（医歯薬出版、2025年）
※4　公益財団法人8020推進財団発行「職域等で活用するための歯科口腔保健推進の手引き　2022年度版」（2023年）
※5　SMTによる唾液検査、歯科衛生士による視診、口腔ケア行動に関する問診等を含む

■研究概要

・研究対象者：2016～2019年度の期間内に、日立健康管理センタにて口腔チェックを受けた従業員の内、健康診断結果で糖尿病もしくは高血圧の予備群であると判定された60歳以下の従業員（糖尿病予備群：8,063名、高血圧予備群：3,178名）

・研究対象期間：口腔チェック受診の初年度から5年間（例：2016年受診の場合、2021年まで）
・口腔チェックにて実施した唾液検査（SMT：Salivary Multi Test）：
歯や歯ぐきの健康、口腔の清潔度に関連する計6項目を測定。本研究では、歯ぐきの健康に関連する白血球エステラーゼ※6、およびタンパク質※7を解析に使用した。

※6 白血球により産生される酵素。歯間や歯と歯ぐきの間で細菌等の増加にともない、増加する白血球数の指標
※7 口腔内細菌や、歯と歯ぐきの間にあるバイオフィルム（プラーク）の影響により増加する唾液中のタンパク質の指標

■研究結果

糖尿病や高血圧の発症と歯ぐきの健康スコアとの関連性

糖尿病または高血圧の予備群を歯ぐきの健康スコアに応じて3つのグループに分け※8、それぞれ5年間の発症状況を解析しました。

その結果、いずれの予備群においても、歯ぐきの健康スコアが低かったグループでは、同スコアが高かったグループに比べて、5年間の累積発症率が高いことがわかりました（図1）。

※8 白血球エステラーゼとタンパク質のスコアがともに高い場合を高スコア群、低い場合を低スコア群、その他を平均スコア群とした

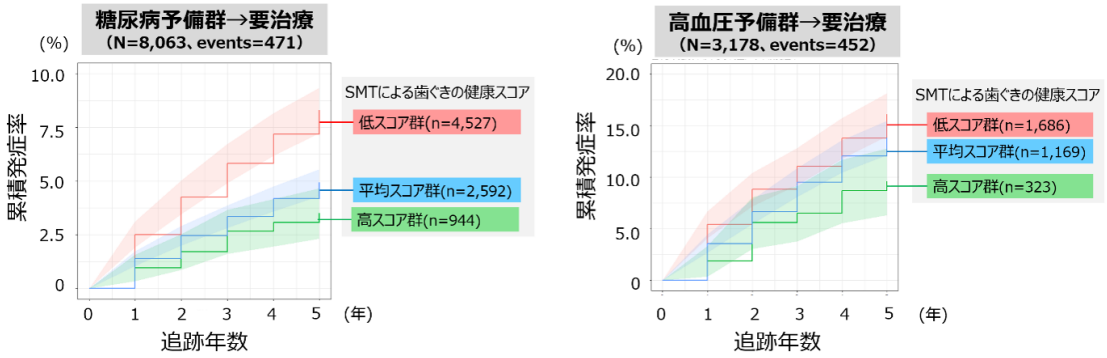


図1. 歯ぐきの健康スコアと糖尿病または高血圧の発症の経年的推移

糖尿病や高血圧の発症リスクと歯ぐきの健康スコアとの関連性

さらに、年齢や性別など発症に影響しうる他の要因を考慮した「調整後ハザード比※9」を算出したところ、歯ぐきの健康スコアが低いグループは、高いグループと比較して、糖尿病の発症リスクが約1.67倍、高血圧の発症リスクが約1.68倍高いことが明らかとなりました（図2）。

※9 年齢、性別などの影響を統計的に調整したうえで、観察期間中の病気（糖尿病または高血圧）の発症しやすさをグループ間で比較した指標。ハザード比が1より大きいほど、基準となるグループと比較して発症リスクが高いことを示す

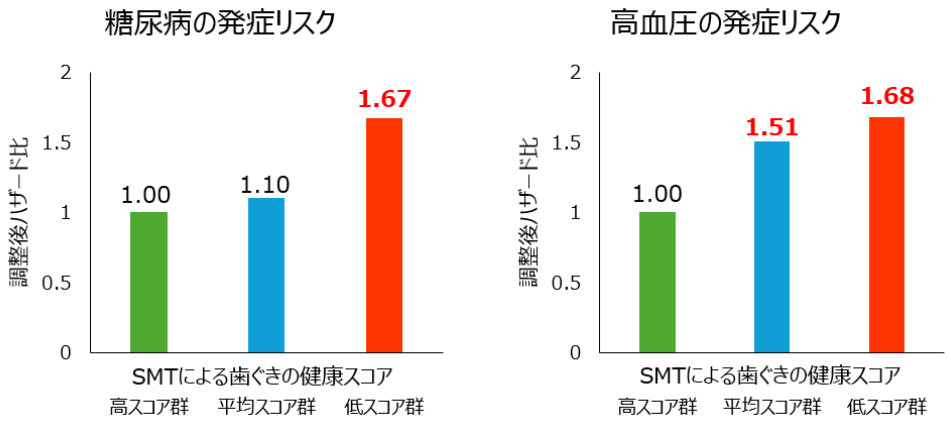


図2. 歯ぐきの健康スコアを基にした、生活習慣病発症リスクの比較（調整後ハザード比）。赤字は有意差あり（vs高スコア群）

これらの結果から、唾液検査（SMT）から得られる歯ぐきの健康スコアの情報が、糖尿病または高血圧の予備群の中からその後の発症リスクが高い人を把握する際の1つの手がかりとなる可能性が示されました。

■今後の展望

本研究成果については、予防医療を専門とする学会にて発表し、「最優秀ポスター発表賞」を受賞しました。口腔健康と糖尿病や高血圧の発症リスクとの関連を示す本研究が、予防医療の専門家が集まる場で評価を得たことは、全身の健康づくりにおける口腔健康の重要性を考える上でも意義があると考えています。医療現場においても歯科健診や歯科保健への関心のさらなる向上が期待されます。

当社は、今後も予防歯科・予防医療に資する口腔チェックの新たな価値創出を目指します。また、口腔チェックを通じた健康への気づきを起点に、歯科医院でのプロケアと日常のセルフケアの好循環を促し、お口の健康につながる「より良い習慣づくり」に貢献してまいります。

【学会情報】
学　　会　　名：第67回日本人間ドック・予防医療学会学術大会
開催日、場所：2026年9月4日(金)～5日(土)、熊本城ホール（熊本）
発表タイトル：職域健診における多項目・短時間唾液検査システム（SMT）の導入効果と生活習慣病発症リスク評価への応用
発　　表　　者：ライオン株式会社 研究技術センター ライフサイエンス研究所
山本　悠、木村　光夫、近澤　貴士、牧　利一
株式会社日立製作所 日立健康管理センタ
中川　徹

尚、大会期間中、当社の唾液検査（SMT）およびウェルビーイングサポートサービス「おくちプラスユー」などの紹介ブースを設置した（株式会社NTTデータ経営研究所、株式会社メディパルホールディングス共催）。

■日立健康管理センタ

株式会社日立製作所病院統括本部配下4施設※10の1つであり、人間ドックや健康診断を通じて、日立グループ従業員をはじめ、地域の皆さまの健康づくりを支援しています。メタボリックシンドローム改善施策である「はらすまダイエット®」など、健康増進に積極的に取り組んでいます。

※10　日立総合病院、ひたちなか総合病院、日立健康管理センタ、土浦診療健診センタ

■おくちプラスユー

当社では、企業の従業員をはじめとした法人向けに、オーラルヘルスケアの習慣づくりを支援するサービスを提供しています。具体的には、唾液検査やセミナー、歯科医院の受診を促し、その後のセルフケアの習慣化まで支援するプログラムなどです。

▼詳細はこちら
法人向けウェルビーイング(健康経営)サポートサービス
『おくちプラスユー』https://go-lion.jp/Oral-kenkou207

おくちプラスユー

＜参考情報＞

「働く人のおくち白書」の概要

タイトル：働く人のおくち白書
従業員の歯科受診で、仕事のパフォーマンス改善率が1.5倍に？！
企業の健康経営®における具体的な取り組み方法をまとめました。

URL：https://www.lion.co.jp/ja/rd/img/development/pdf/workplace_oral_health_white_paper.pdf

（一部のイラストは、生成AIを活用し、制作者が構成・加工・編集したものです。）

【関連情報】
・2026年統合レポート
「オーラルヘルスケアの成長加速」
「持続的な成長実現に向けた新たな事業モデルの構築」
・ニュースリリース
「従業員の歯科受診で、仕事のパフォーマンス改善率が1.5倍に ライオン、日立製作所との共同研究で確認 ―企業の健康経営®における具体的な取り組み方法をまとめた「働く人のおくち白書」もWEB公開―」
2026年9月3日
「～歯科健診をより多くの人・企業に～ 日立とライオンが健康診断データを解析 歯科健診による従業員のオーラルケア行動変容が生産性向上に寄与する可能性を確認」
2023年6月1日
「～歯科健診をより多くの人に～ 日立とライオンが健康診断データを解析 職域における歯科健診の導入が口腔及び全身の健康状態に寄与する可能性を確認」
2023年2月9日

＊1 「はらすまダイエット®」は、株式会社ニッセイコムの登録商標です。
＊2 「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

以 上

お問い合わせ窓口
＜報道関係の方＞ 広報部 03-6739-3443